支笏湖ビジターセンター便り

2022年（令和4年）6月号　Vo1．150

今年は「ミズキ」の当たり年！

樹木、花盛り！

今、支笏湖周囲の森で白い玉状の花をつけた木があちらこちらで見られています。支笏湖に向かってくる道中でも多く見られ、スタッフの間では「今年は当たり年だねー」などと話題になるほどです。地域の人や、来館者からも「道路沿いの白い花をつけた木は何？」と質問を受けています。その木の名前は「ミズキ（ミズキ科）」。名前は水のような樹液が多いことによるそうです。ミズキは日光を好むため、日の当たる道路の上に向かって枝をのばしているので目立つというわけです。

枝を横に伸ばすだけではなく、日を浴びるため葉っぱ自体が重なり合わないよう平べったく茂っているので、枝ぶりがテーブル状になっているのが特徴です。

千歳市内から続く道道16号線

枝がまるでテーブルのように横に広がっているのが「ミズキ」の特徴です。
英名は、Ｔａｂｌｅ　ｄｏｇｗｏｏｄ！

１５㍍から２０㍍以上の高さまで成長するミズキの花を目の前で鑑賞するのは困難。でもビジターセンターから歩いて約５分のところにある湖畔橋では観察しやすいですよ。湖畔橋は千歳川に架かる橋。そのミズキは橋の下の川岸から生えているので橋の上から見れば目の前で花を観察できます。ぜひ行って見てください！川沿いのすがすがしい景色と、上流の支笏湖と山線鉄橋、恵庭岳を一望できる絶景も待っています。

観察のススメ

ミズキは４枚の花びらのある小さな花の集合体を付けます。その集合体は満開になると虫たちが歩き回れるような「花のじゅうたん」になります。虫たちは「花のじゅうたん」の上で花粉などを食べ、「結婚」相手とも出会います。一方ミズキは花に虫たちを集めることで受粉を助けてもらいます。開花時期に観察すると、生き物の繋がりあいを実感できますよ

ミスキ：ミズキ科

「野鳥の森」遊歩道さんぽ

～「休暇村支笏湖」周辺の森を歩いて見つけた旬の自然を紹介するコーナーです～

6月の園地さんぽ
～ホオノキの花が咲いていますよ～

今、園地ではホオノキが開花時期を迎えています。

他の多くの植物の開花時期はせいぜい1週間ほどで、一気に盛大に咲いてあっという間に散ってしまいますが、ホオノキの開花時期は、約1月間続きます。支笏湖の森では、今年は5月下旬から咲き始めました。一つの花は4日ほどで散ってしまいますが、それぞれの花の開花のタイミングが少しずつずれて咲き続けます。

淡いクリーム色がかった白い花ですが、その径は20㎝ほどで日本の樹木の中では最大の大きさなんです。私は嗅いだことはないのですが、甘い芳香がするそうです。

大きな葉も香りがあり、料理などに使われ有名です。

右奥に開花を待つ蕾が見えますね

支笏湖温泉の気象

支笏湖畔の気温・降水量
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測～

気温（℃）

	平年値	今年
５月上旬	8.2	8.8
中旬	9.7	11.9
下旬	11.7	13.3
６月上旬	12.7	11.1

降水量（mm）

	平年値	今年
５月上旬	50.2	26.5
中旬	42.9	7
下旬	50.8	154
６月上旬	45.3	10

昨年末からの高温傾向は５月も続き、同月の平均気温１１．４℃は平年値より１.５℃高く、同月としては高い方から３番目でした。平均気温は高めの日が多かったのですが、２０℃超え初日は５月６日でほぼ例年並み。支笏湖ビジターセンター職員が聞いたエゾハルゼミの初鳴きは５月２０日で、こちらも過去５年間の平均とほぼ同じでした。

６月に入ると気温が急降下。上旬の平均気温１１.１℃は平年値より１.６℃も低く５月中旬から下旬並み。同月上旬としては観測開始以来低い方から７番目でした。ちなみに６月上旬の平均気温が最も低かったのは１９９７年の８.７℃でした。

アクティブ・レンジャー日記

環境省　支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブ・レンジャー（自然保護官補佐）阿部　万純

シラネアオイ

支笏湖で働き始めて早一ヶ月、個人的にびっくりした発見をご報告します。それが写真のシラネアオイなのですが･･･北海道の自然豊かな場所で暮らしている人には、珍しいものでは無いかもしれませんね。私が東京に住んでいた時には、群馬県の奥利根や尾瀬まで出向いて始めて見ることが出来る花でした。身近な植物が、実はすごく貴重なもの。そんな視点で森を散歩すると、新しい楽しみ方が出来るのではないでしょうか。

夏バージョン始まる！

センター内の生き物展示

カナヘビ

ヒガシニホントカゲ

支笏湖温泉園地の湖岸にある遊覧船乗り場で見つかった「カナヘビ」と「ヒガシニホントカゲ」です。

来館の皆様に観察していただけるよう、一時的に飼育しています。支笏湖の身近な自然の一コマを間近でごらんください。

今後は、皆さんに人気のミヤマクワガタなどを展示していきたいと思います。

「樽前山ファン」に朗報

5月30日 樽前山七合目駐車場ＯＰＥＮ

支笏湖の南東の山「樽前山」。標高１０４１㍍の山の７合目にある駐車場までの道路（樽前山観光道路）の冬季閉鎖期間が解除され、登山時間が短縮になりました。しかし、火山活動のため、標高約 700 ㍍以上には樹木がありません。行動時は日光や風の影響を身体に直接受け、厳しい状況になることも。登山の装備を怠らず、安全に登ってください。また、最新の火山情報も得ての登山をお願いします。

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行
〒０６６・０２８１　北海道千歳市支笏湖温泉番外地
℡　０１２３・２５・２４０４
ＨＰアドレス　http://shikotsukovc.sakura.ne.jp

【開館時間】　※入館無料
４月から１１月　午前９時から午後５時３０分まで
１２月から３月　午前９時３０分から午後４時３０分まで
（火曜日休館）
年末年始休館日　１２月２９日から１月３日まで

～多目的展示室から～

6 月 30 日
15:00 まで

ヒグマパネル展 2022ｉｎ支笏湖

北海道（石狩振興局　保健環境部　環境生活課）
HoBiCC（北海道生物多様性保全活動連携支援センター）主催

北海道内では毎年ヒグマによる人や農作物等への被害が報告されています。ヒグマとうまく共存するためには、ヒグマを知ることが一番です。今回の展示は、パネルでヒグマの生態を説明しているもので、お子さまにもわかりやすい内容になっています。たくさんの方にヒグマの生態を知っていただきたいです。是非見にきてください。